

龍 教 文 6 7 号

令和 4 年 3 月 3 1 日

龍ヶ崎市図書館協議会委員 各位

龍ヶ崎市図書館協議会

委員長 石嶋 照幸

令和 3 年度第 2 回龍ヶ崎市図書館協議会の結果について（報告）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、みだしの会議について、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面による開催とし、15名中15名の委員から書面表決書をご提出いただき会議が成立しましたのでご報告します。お諮りした議案の結果は、下記のとおりです。参考までにいただいた意見等を別紙のとおりとりまとめましたのでご覧ください。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

記

1 会議の成立

【図書館の設置及び管理に関する条例施行規則第 24 条

会議は委員の過半数の出席がなければ開くことができない】

◆提出数 15名（委員数15名）⇒定足数を満たし、会議が成立しました。

2 書面表決結果

◆報告第 1 号 令和 3 年度龍ヶ崎市立中央図書館事業中間報告について

承認 15名 否認 0名

◆議案第 1 号 令和 4 年度龍ヶ崎市立中央図書館事業計画について

承認 15名 否認 0名

問合せ：龍ヶ崎市 文化・生涯学習課

【担当】武田・森下

電 話 64-1111（内線 234）

F A X 60-1582

E-Mail syougai@city.ryugasaki.lg.jp

意見（自由記述）

1	<p>【意見等】</p> <p>【図書館事業について】</p> <p>①令和3年度第1回図書館協議会資料の中にある、8令和3年度実施事業（2）新しい生活様式への対応（P23）の項目で、「コロナ禍でも市民の潤いや生涯学習に役立つイベントを企画・実施していきます」とあります。本年度、特に力を入れて行った事業名およびその具体的な内容についてお教え願います。また、令和4年度において、それらをさらに充実・発展させるためにどのような目標設定や計画内容になっているのでしょうか。</p> <p>ご意見を届けていただき、ありがとうございます。</p> <p>令和3年度特に力を入れて取り組んだ事業のひとつが令和4年2月20日開催の「三浦瑠麗氏による文化講演会」です。（会議資料には掲載が間に合いませんでした。）</p> <p>この講演会は、毎年作家など著名人を招き龍ヶ崎市読書会連合会・龍ヶ崎市教育委員会・中央図書館の3者主催により実施しております。令和2年度も開催に向け準備を進めていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため急遽中止した経緯がございました。</p> <p>本年度は密集を避けるため、これまで大昭ホール龍ヶ崎（龍ヶ崎市文化会館）小ホールで開催していたところを同館大ホールに会場を変更し、人数制限（会場収容人数の1/4にあたる200人）や事前申し込み、座席を指定制にするなど、最善の対策を講じて開催しました。</p> <p>あいにく開催時は「まん延防止等重点措置」対象地域に該当しましたが、問題が生じることなく実施し、参加者アンケートでは87%の参加者から「楽しかった」との回答をいただきました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が発生する前には好評を得ていた講座やイベントも、感染拡大を防ぐため中止せざるを得ない事態も多い昨今ですが、開催できる方法を模索し、コロナ禍においても生涯学習の機会を提供できるよう、努めていきたいと存じます。</p>
---	--

2	<p>【意見等】</p> <p>【図書館事業について】</p> <p>②令和2年度の図書館運営の特徴の1つに、「非来館型図書館」としての機能の充実を図ったことが挙げられましょう。それらの事業活動を通して明らかになった問題点や課題等についてお聞かせください。</p> <p>電子図書館は H27 年度より導入した事業で、令和2年度は電子図書館資料 14,051 点を購入し（内、13,510 点は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使用）充実を図って参りました。しかしながら、令和3年度の中央図書館利用者アンケート【問3（11）電子図書館を利用するか否か】に対する回答の割合は、「利用する・・・18%（前年度 17%）・利用しない・・・82%（前年度 83%）」となっており、利用者の伸び悩みを認識しております。</p> <p>現在、市広報紙りゅうほーや図書館だよりでの周知のほか、利用促進イベントを開催していますが、効果的な打開策とまでは至っておりません。</p> <p>そのような中、昨年12月に当課で実施した「子どもの読書に関するアンケート（対象者：2歳児・5歳児・つぼみ園保護者／小学2年生・5年生・中学2年生・高校2年生）」では、「本をどのようにして用意していますか？」の質問に「電子書籍を読む」との回答が、小学生に比べ中学2年生・高校2年生では大幅に増加することがわかりました。</p> <p>このことから、生徒へ電子図書館の利用を促すことも有効と読み取れましたので、まずは市内中学校へ電子図書館の ID 配布を検討していくなど、中学生・高校生の利用促進に向けた働きかけを行っていきたく存じます。</p>
3	<p>【意見等】</p> <p>【アンケート調査について】</p> <p>①令和3年10～12月に実施したアンケート調査（令和3年第2回資料集 P29&P36）において、北竜台分館に対する全体的な評価は「とても満足」、「満足」が92%に対して、中央図書館に対するそれは71%に留まっています。この結果をどのように受けとめておられますか。双方の役割や機能も違っており単純に比較することは難がありますが、市立図書館が、市民の活動を支え、市民の期待に応える情報拠点として、より一層改善していくための重要課題とはなんですか。</p>

	<p>うか。</p> <p>②今般のコロナ禍において、市民の学びの機会や参加活動が制約される中で、地域に根ざしたサービスを展開することが重要な課題となりましょう。コロナ禍における市民の読書への影響や、困難に感じていることなどについて調査項目を追加する必要があるのではないのでしょうか。生涯学習の拠点としての機能の充実を図る意味においても重要だと思っておりますが、ご検討願います。</p> <p>中央図書館と北竜台分館で満足度に差が生じたことは、ご指摘のとおり、施設の機能が全く同じではありませんので比較が難しいところもありますが、当課としても課題と認識しております。</p> <p>アンケートはこれまで、それぞれの施設の利用者へ紙媒体を使い記入式で実施しておりました。令和4年度は、図書館を利用していない方・利用したことがない方にもご意見をうかがえる方法での実施を検討します。具体的には市政情報モニターへインターネットを使用した調査協力を依頼し、これまでよりも幅広く声を図書館運営に反映させていきたいと存じます。コロナ禍における市民の読書への影響や、困難に感じていることなどについても調査項目へ追加します。</p>
4	<p>【意見等】</p> <p>北竜台分館オープンおめでとうございます。今後の活発な活動を期待しております。また、この分館の利用状況を踏まえ、将来的に現在の図書館を龍ヶ崎市民がもっと身近なところへと考慮されてはいかがでしょうか。</p> <p>ご意見ありがとうございます。市民が求める施設に近づけるよう、力を尽くしてまいります。</p>
5	<p>【意見等】</p> <p>北竜台分館のオープンは中心市街地の複合施設にあり、情報提供機能や集客機能をまちづくりに生かせると思うので、さらに各種イベント・図書の実充と共に、時々広報紙での利用促進をし、図書館が身近になるようにしてください。</p> <p>ご意見ありがとうございます。北竜台分館（たつこの図書館）がオープンして半年が経過し、利用者から質問の多い事項や「北竜台分館の今」を紹介する</p>

	<p>記事を令和4年度早々に掲載いたします。身近な存在として愛される施設になるよう引き続き努めてまいります。</p>
6	<p>【意見等】</p> <p>図書館での人々やコミュニティとの関係では、図書館には本もあるがそれ以外に何かがある。</p> <p>小中学生には金銭教育、最近子供向けに出版されている「失敗の法則」「ドラッカーの本」を読んだの話し合いの場、新聞の読み方などによりスマホでは得られない調べる力の場にするのも1つの方向であると思います。</p> <p>高齢者には郷土の歴史、絵本による昔の思いにはせる、老後の暮らしの知識（年金・相続 etc）の勉強の場としてのコミュニケーションの場の提供で、集客を図ることも1つの選択肢ではないかと思いません。</p>
	<p>ご意見を届けていただき、ありがとうございました。「市民がコミュニティの場として図書館にどのようなサービスを求めているのか」について、前述のアンケート調査で質問項目に加え声を聞くなど、本を介さない面でのサービスについても検討してまいります。</p>
7	<p>当校の学校図書館も近年利用が伸び悩んでいます。一緒に取り組めそうなことがあればぜひ検討したいです。</p> <p>願ってもないご提案をいただき、ありがとうございます。早速ご相談に伺いお話を進められたらと存じます。よろしく願いいたします。</p>